

## 大阪港開港150年記念式典

大阪港開港150年を記念して、大阪港の発展にご尽力いただいた方々をお招きし、皆さまと共に祝い、更なる大阪港の発展の契機とするため、大阪港開港150年記念式典を盛大に執り行いました。

- ▶ 実施日時 平成29年7月14日(金) 14:00~17:00
- ▶ 実施場所 ハイアットリージェンシー大阪 リージェンシーボールルーム  
(大阪市住之江区南港北1-13-11)

### ▶ プログラム

第一部 記念式典	
開会の辞	
主催者挨拶	吉村 洋文 (大阪港開港150年記念事業推進委員会委員長 大阪市長)
来賓挨拶	石井 啓一 (国土交通大臣)
来賓祝辞	松井 一郎 (大阪府知事)
来賓挨拶	溝江 輝美 (大阪港運協会会長) 尾崎 裕 (大阪商工会議所会頭)
大阪港開港150年記念港湾功労者顕彰	賞状と記念品の贈呈
大阪港開港150年記念港湾功労者特別表彰	
大阪港港湾功労者表彰	
来賓祝辞	ウィリー・アダムス (サンフランシスコ港湾委員会代表)
大阪市歌斉唱	
閉会の辞	
第二部 記念講演会	
記念講演	竹中 平蔵 (慶應義塾大学名誉教授、東洋大学教授)
第三部 記念コンサート	
記念コンサート	川井 郁子 ヴァイオリン・コンサート <演奏曲> ・さくら ・浜辺の歌 ・ホワイトレジェンド ・サンクトゥス(リベルタンゴ) ・水百景 ・波の記憶 ・時の彼方に ・ジュピター

(敬称略)



記念式典会場(ハイアットリージェンシー大阪)

## 「第4次産業革命が港湾にもたらすもの」



### 竹中 平蔵氏

プロフィール:

昭和26年生まれ。慶應義塾大学名誉教授、東洋大学教授。博士(経済学)。一橋大学卒業。ハーバード大学客員准教授、慶應義塾大学総合政策学部教授などを経て平成13年、小泉内閣の経済財政政策担当大臣、金融担当大臣、総務大臣などを歴任。現在、アカデミーヒルズ理事長、(株)パソナグループ取締役会長、オリックス(株)社外取締役、SBIホールディングス(株)社外取締役などを兼職。

(要旨)

現在、私たちの周りには、何が起きるか予測のつかない、乱気流のような流れや、「第4次産業革命」という新たな経済社会をつくる、偏西風のような流れが生まれている。

乱気流については、イギリスのEU離脱といった、予想もつかないようなことが様々な国で起こっており、世界に不安をもたらしている。こうした乱気流については、今後の動向を慎重に見極める必要がある。

一方、偏西風がもたらす「第4次産業革命」は、いわゆるAIと呼ばれる人工知能や、全てのものがインターネットでつながるIoT、ビッグデータ、またはそのビッグデータを利用したシェアリングエコノミーといった要素を組み合わせによって、様々な効果を生み出し、私たちの生活基盤を変えていくことである。

平成29年6月9日、政府が発表した「未来投資戦略2017」の中で、こうした第4次産業革命を後押しするよう、様々な規制を緩和することができる仕組みが示された。大阪の港でどのようなことができるのかを、ぜひ皆さんに考えていただきたい。

国家戦略特区は、規制を緩和する仕組みのひとつであるが、何も規制がないというルールの下で自由に試行錯誤する「サンドボックス(砂場)」という制度も生まれており、今後重要なキーワードとなってくる。松下幸之助さんの有名な言葉を借りて言い換えれば、「やってみなはれ」というのがこの制度の概念である。

サンドボックスを導入するための制度設計は、これからの議論であるが、特区、サンドボックス、第4次産業革命のAIやロボット、そしてビッグデータといった新たな仕組みを大いに活用し、新たなビジネスモデルをつくり、そのノウハウを、自分たちの効率化のためだけではなく、世界に輸出していく。そういった志を持って、大阪港をますます発展させていただきたい。

乱気流を乗り越え、そして、偏西風、第4次産業革命という偏西風に乗って、この大阪港の150年の歴史に大いなる誇りを持って、さらなる飛躍を遂げていただきたい。

## 記念コンサート

### 川井 郁子氏 ヴァイオリン・コンサート

プロフィール:

東京藝術大学卒業。同大学院修了。現在、大阪芸術大学(演奏学科)教授。国内外の主要オーケストラをはじめ、世界的音楽家たちと共演。平成25年映画「北のカナリアたち」で第36回日本アカデミー賞・最優秀音楽賞を受賞。国内外を問わず、精力的に活動している。

<演奏曲>

・さくら ・浜辺の歌 ・ホワイトレジェンド ・サンクトゥス(リベルタンゴ) ・水百景 ・波の記憶 ・時の彼方に ・ジュピター

